

2008 年度

建設マネジメント委員会 研究成果発表会

インフラ PFI 研究小委員会 (2006 年度～2007 年度)

報告概要

2008.08.28

インフラ PFI 研究小委員会 (2006 年度～2007 年度)

朝倉恒夫 (玉野総合コンサルタント)  
有岡正樹 (立命館大学：副委員長)  
安藤良輔 (豊田都市交通研究所)  
石川崇之 (パシフィックコンサルタンツ)  
上田昭彦 (中電技術コンサルタント：幹事)  
大島邦彦 (熊谷組：幹事)  
大西正光 (京都大学)  
岡崎賢司 (長大)  
金子雄一郎 (日本大学)  
北詰恵一 (関西大学：幹事)  
小石川隆太 (高速道路技術センター：幹事)  
越川裕司 (八千代エンジニアリング)  
後藤忠博 (オリエンタルコンサルタンツ)  
佐藤有希也 (長大：幹事)  
佐藤良一 (鹿島建設)  
小路泰広 (国土交通省国土技術政策総合研究所)  
高木智 (大日コンサルタント)  
千葉俊彦 (オリエンタルコンサルタンツ)  
野中晴美 (国際協力銀行)  
長谷川専 (三菱総合研究所：幹事長)  
浜島博文 (大成建設)  
廣實正人 (パシフィックコンサルタンツ)  
宮本和明 (武蔵工業大学：委員長)  
森浩 (三菱総合研究所)  
渡会英明 (建設技術研究所)

我が国では既に多くの PFI 事業が実施されているが、未だ本格的なインフラ案件は皆無である。そこで、インフラ PFI 研究小委員会（2006 年度～2007 年度）では、2005 年度まで PFI 研究小委員会として活動してきた成果を踏まえ、改めてインフラ事業を対象に PFI を適切に適用するための各種検討を行うことを目的とした。研究対象が広範であることから、以下の 3 部会を設定し焦点を絞って研究活動を実施した。

リスクマネジメント部会（主査：北詰恵一）

国際動向部会（主査：有岡正樹）

課題分析部会（主査：渡会英明）

リスクマネジメント部会においては、道路事業におけるリスクマネジメント制度の確立に向け、1)海外インフラ PFI のリスクに関する事例整理、2)リスク分析・定量化の理論的検討、3)リスクワークショップの実施に基づくマニュアルの実用性向上、4)リスクマネジメントの実用化に向けたアクションプランの策定、等について検討した。

国際動向・調査研究部会においては、国内でのインフラ PFI/PPP の展開を念頭に、1)英国、2)豪州、3)米国、における具体事例を基に「道路 PFI/PPP における事業運営リスクとその対応」について詳細を分析した。

課題分析部会においては、国内でのインフラ PFI/PPP の実現に際し、これに必要な技術やノウハウ、技術的な課題や隘路の打開策、VFM のあり方等について整理・分析し、今後のインフラ PFI/PPP のあり方等について検討した。

各部会の活動内容に関しては随時全体研究会において意見交換を行っているのでその成果は研究小委員会全体のものではあるが、文責を明確にするためそれぞれの部会が報告書を作成している。

本研究成果発表会においては昨年度の成果発表会に続き、3 部会の成果に関して順次報告する予定である。

なお、インフラ PFI 研究小委員会は同名ながら改めて第 1 種研究小委員会として承認を受け、新メンバー構成で活動を行っている。インフラ PFI 研究小委員会の新旧活動に関してはホームページ (<http://www.jsce.or.jp/committee/cmc/infra-pfi/index.html>) を参照されたい。

（委員長：宮本和明）